

(1) 学童期生活習慣病対策普及事業

1 背景及び経緯

学童期からの生活習慣病予防を推進するため、平成20年度から3年間、モデル市の小学校高学年の児童を対象に血液検査・腹囲測定等を行った中から、「糖尿病」を始めとする生活習慣病予備群を疑われるハイリスク児に対して継続的な保健指導を実施し、その成果を健診・保健指導プログラムとしてまとめた。

そこで、これらのプログラムを県下の、医療、学校保健、行政保健関係機関などに広く普及啓発することにより、子どもの頃からよりよい生活習慣の実践をすすめるとともに、将来の生活習慣病の発症抑制の基盤整備を図る。

これらの取り組みにより、「子どもからおとしよりまで全世代にわたる健康実現」、さらには「健康長寿あいちづくり」を推進する。

2 目的

- (1) 子どもの頃からのよりよい生活習慣づくりの啓発
- (2) 「生活習慣病予防のための健診・保健指導実践マニュアル『小学生版』」の普及

3 事業内容

〔実施主体〕愛知県小児保健協会、愛知県

〔内 容〕

- (1) 「生活習慣病予防のための健診・保健指導実践マニュアル『小学生版』」の作成・配布
- (2) 普及啓発シンポジウムの開催

